

先導的な「フルーツ・ステーション」の整備に向けた調査検討の 進捗状況について

1 官民連携導入可能性調査の実施について

県では、令和5年3月策定の「さくらんぼを核とする県産フルーツの情報発信実行計画」に基づき、消費者が県内のフルーツ産地を訪れ、様々なフルーツの楽しみ方や、生産者との交流を経験する「フルーツ・ツーリズム」の推進に向けて、その目的地となる「フルーツ・ステーション」を県内各地域に創出し、ネットワーク化に取り組むこととしている。

このうち、ステーション創出の先導的ケースとして、県では、県立都市公園である最上川ふるさと総合公園(寒河江市)の一部エリアを、民間活力の導入により、さくらんぼを始めとする県産フルーツの情報発信の場として再整備したいと考えており、事業化に向けて、今年度は官民連携導入可能性調査を実施することとしている。

〔官民連携導入可能性調査の主な内容〕

- ・現況調査・前提条件の整理（公園現況、関係法令、マーケット環境等の把握）
- ・民間事業者へのサウンディング調査（参入意向、事業アイデア等の聴取）
- ・基本計画の検討（整備内容の検討、概算事業費の算出）
- ・事業スキームの検討（事業期間、業務範囲、事業手法等の検討）
- ・調査結果の取りまとめ（基本計画(案)の完成、事業スキームの選定）

2 委託事業者の選定について

官民連携導入可能性調査を実施する委託事業者を以下のとおり決定した。

(1) 委託業務

最上川ふるさと総合公園の再整備による「フルーツ・ステーション」の創出のための官民連携導入可能性調査業務

(2) 選定方法

公募型プロポーザル方式

(3) 公募期間

令和5年4月14日（金）～5月19日（金）（36日間）

(4) 提案事業者

4者

(5) 契約の相手方（最優秀提案者）

株式会社日本総合研究所（東京都品川区東五反田二丁目18番1号）

(6) 契約内容

契約期間 令和5年6月20日～令和6年3月21日

契約金額 19,998,000円（税込） 《財源：国庫1/2、一財1/2》

3 今年度の主なスケジュール（予定）

令和5年9月 中間報告(サウンディング調査の状況、基本計画(素案)の報告)

令和6年3月 完了報告(基本計画(案)の完成、事業スキームの選定)